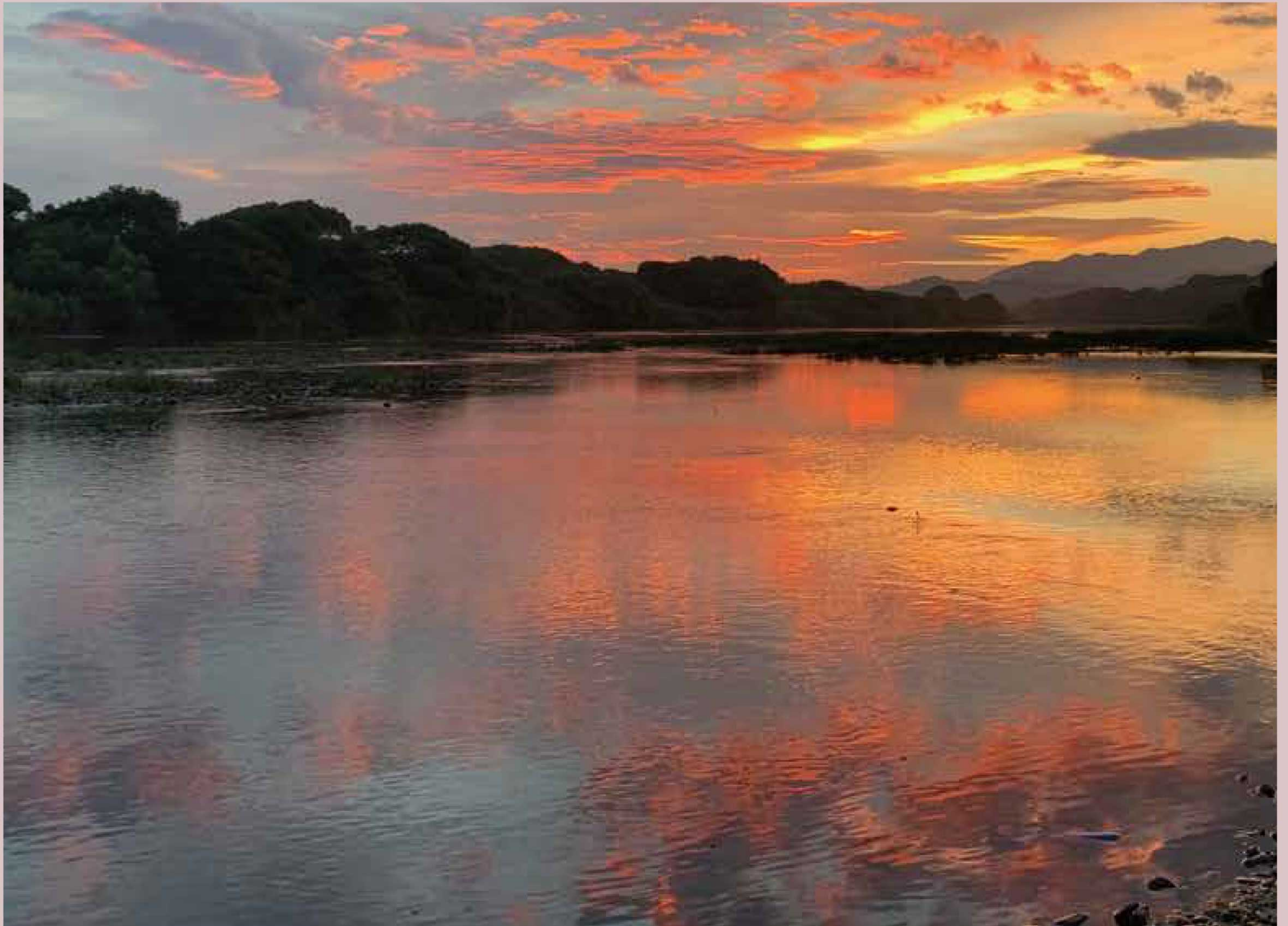


第129回 豊橋交響楽団定期演奏会

～ラヴェルの技巧 チャイコフスキーの旋律～



2023年6月4日(日)開場13:15 開演14:00/ライフポートとよはしコンサートホール



指揮：松元宏康

曲目：M.ラヴェル：古風なメヌエット
M.ラヴェル：左手のためのピアノ協奏曲
P.I.チャイコフスキー：交響曲第5番 ホ短調 作品64

入場料：一般(自由席) 2,000円 小中高生(自由席) 500円

※一部後援会指定席がございます。発売予定日：2023年3月5日(日)

※未就学児の入場は、固くお断りいたします。(託児をご利用ください。)

※前売り券完売の場合、当日券の販売は行いません。

チケット取り扱い (公財)豊橋文化振興財団(穂の国とよはし芸術劇場PLAT内)

豊橋市民文化会館、ライフポートとよはし総合案内所

豊橋交響楽団ホームページからチケットの予約ができます。http://www.toyokyo.org/

お問い合わせ先 090-3157-1661 (豊響事務局 小林)



ピアノ：智内威雄

主催：公益財団法人豊橋文化振興財団 豊橋交響楽団

共催：豊橋市

協賛：サーラグループ

協力：公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟

後援：豊橋市教育委員会 豊橋ケーブルネットワーク株式会社[ティーズ]

やしの実FM 豊橋交響楽団後援会

お知らせ

託児：予約制・有料(500円)となっております。

予約締め切り：5月28日(日)

必要事項：①お子様のお名前 ②年齢

③連絡先電話番号 ④食物アレルギーの有無

予約先：豊橋交響楽団事務局

TEL・FAX (0532)62-1661

事務局携帯 090-3157-1661

無料送迎バス：詳細はチケット裏をご参照ください。

～ラヴェルの技巧 チャイコフスキーの旋律～

今回は華麗なるオーケストレーションの共演です。かたやラヴェルはオーケストラの魔術師、かたやチャイコフスキーは希有のメロディーライター、二人が紡ぎ出す音の世界にどっぷりと浸ってください。

おっと、「オーケストレーションて何?」と思った方もいらっしゃるでしょう。オーケストレーションとはオーケストラで演奏するための編曲のことです。どんな楽器を組み合わせるか。テンポや強弱を決めどのように歌うか。どのような構成にするか。

メロディーを素材とするならその料理の仕方がオーケストレーションです。差し詰めラヴェルはあらゆる素材を組み合わせ、極上の料理に変えてしまう職人。チャイコフスキーは素材の選び方やその生かし方が絶妙な天才と言えるでしょう。

さて、今回コンチェルトのソリストは智内威雄氏、曲はその名のとおり「左手のための……」なのですが、まるで両手で弾いているように聴こえるから不思議です。また、指揮には久々に松元宏康氏が登場します。

実はこのお二人とのコラボは2020年に計画されていました。それがコロナのために延び延びに……。今回、待ちに待った共演がやっと実現します。ご期待ください。

下谷 剛嗣

松元 宏康(指揮者) Hiroyasu Matsumoto, conductor

プロフィール

東京都生まれ。幼少よりピアノ、エレクトーンを学び、洗足学園音楽大学ならびに同大学附属指揮研究所マスターコースを経て、仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者に就任し、プロ指揮者としてのキャリアをスタートさせた。これまでに仙台フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団、群馬交響楽団、千葉交響楽団、広島交響楽団、日本センチュリー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、オーケストラアンサンブル金沢、九州交響楽団、大阪交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団などへ定期的に客演しコンサート出演は年間70公演以上を数える。指揮法を秋山和慶、河地良智、増井信貴の各氏に、スコアリーディングを島田玲子氏に、クラリネットを松代晃明氏に師事する。現在、琉球フィルハーモニックオーケストラ正指揮者、ブリッツフィルハーモニックウインズ音楽監督、グランドフィルハーモニック東京首席客演指揮者、洗足学園音楽大学講師。また芸人コンビ「ジャジャジャジャー」としても活動し、テレビやライブ出演の他、M-1グランプリでは3回戦まで進出している。(コンサートイマジン所属・スパンキープロダクション所属、東京都在住)

智内 威雄(ピアノ) Takeo Chinai, pianist

プロフィール

1976年埼玉県生まれ。東京音楽大学、ハノーファー音楽大学を卒業。留学中にグリーク国際コンクール、マルサラ国際コンクールに入賞受賞するが、右手に局所性ジストニアが発症する。2003年から左手のピアノ音楽の復刻普及を目指し「左手のピアニスト」として本格的な活動を開始する。芸術振興事業とともに教育福祉事業を手がけ、音楽活動が高く評価されている。2007年に関西テレビ、2013年にNHKがドキュメンタリー番組(月間Galaxy賞受賞)を制作・放送される。2016年に神戸アートアワード大賞受賞、2017年にJasrac音楽文化賞を受賞する。2018年に世界初となる左手のピアノ国際コンクールを主催。2019年にNHKが制作した同コンクールのドキュメンタリー番組が総務大臣賞にノミネートされるなど普及活動と共に演奏分野としての評価も高まっている。2020年にNHKがインタビューによるドキュメンタリー番組「こころの時代」を制作・放送。2020年に埼玉県蕨市けやき文化賞受賞。2022年に第5回たかじんアワード受賞。現在は東京音楽大学にて後進の指導にあたる。一般社団法人ワンハンドピアノミュージック代表理事、「左手のアーカイブ」プロジェクト代表を務める。社会活動として大阪府箕面市の特命大使、埼玉県蕨市のPR大使を務める。著書に『ピアノ、その左手の響き:歴史をつなぐピアニストの挑戦(太郎次郎社)』

SDGs17 (つくる責任 つかう責任)

豊橋交響楽団は、フードロスをなくす『フードバンク』の取り組みに賛同し、『フードドライブ活動』に協力します。フードバンクとは、賞味期限が残っていても、やむを得ず処分されてしまう食料を、企業や個人から寄贈を受け、食料を必要としている人に無償で提供する取り組みです。皆様のご家庭に以下の食品がありましたら、演奏会当日、ライフポートとよはしへご持参ください。皆様のご協力をお願いいたします。

寄附をいただきたい食品

【賞味期限が明記され、おおむね2か月以上あるもの】

- (1) 家庭内の保存食
(乾物、缶詰、レトルト食品)
- (2) 調味料等
(醤油、味噌、塩、食用油)
- (3) お米、お菓子、飲み物



音楽を愛する皆様へ

弊社は1874年の創業より、郷土の文化と教育の発展に貢献する企業を目指して参りました。新型コロナウイルスは、当たり前だったことが当たり前ではなくなり、文化や教育、人の活動や生活までも様変わりさせました。文化を愛し、芸術を愛し、音楽を愛する皆様は、演奏する側も、聴く側もとてもつらかったと思います。徐々にコロナとうまく付き合い、少しずつ前に進み始めています。みんなで集まって音を響かせ、満員のホールでコンサートを全力で楽しめる日が早く来ることを、同じ文化を大切にしている者として心から願っています。音楽は人の心に大きな影響を与えます。最高のパフォーマンスで聴衆に幸せと平和を届けて下さい。

2023年 株式会社豊川堂 代表取締役社長 高須大輔

新しい知識との出会い

本の豊川堂



豊川堂英語教室

Honey Bee Project